

令和 3 年 5 月 1 3 日

広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線先端医学実験棟
看板除幕式について

原爆放射線医科学研究所 放射線先端医学実験棟は、昨年 2 月に着工し、今年 1 月に竣工しました。

国内外の関連研究者等との共同利用・共同研究などのために放射線実験施設、動物実験施設、遺伝子実験施設を整備し、さらに、放射線災害医療分野の人材育成に活用するための原子力災害トレーニングセンターも整備しました。また、原爆関連文献の収集整理等を行う附属被ばく資料調査解析部が移転してきました。その他、セミナーなどを行う講堂や会議室も設けました。

当実験棟は、世界の放射線災害・医科学領域の発展に貢献することを目指し、本格稼働します。

記

日 時：令和 3 年 5 月 1 3 日（木）12 時～12 時 15 分

※ 学長定例記者会見後

場 所：霞キャンパス 原爆放射線医科学研究所玄関ホール

次 第：1. 開式の辞

2. 越智学長 挨拶

3. 田代原爆放射線医科学研究所長 挨拶

4. 看板除幕

5. 閉式の辞

※ 除幕式終了後、放射線先端医学実験棟の施設公開を実施いたします。
（30 分程度）

【お問い合わせ先】

霞地区運営支援部総務グループ（原医研主担当）
TEL:082-257-5802 FAX:082-255-8339

<放射線先端医学実験棟の概要>

原爆放射線医科学研究所に、共同利用・共同研究拠点の基盤整備を目的として、放射線先端医学実験棟を建設しました。

当実験棟は、昨年2月に着工し、今年1月に竣工しました。

国内外の関連研究者等との共同利用・共同研究などのために放射線実験施設、動物実験施設、遺伝子実験施設を整備し、さらに、放射線災害医療分野の人材育成に活用するための原子力災害トレーニングセンターも整備しました。また、原爆関連文献の収集整理等を行う附属被ばく資料調査解析部が移転し、その他、セミナーなどを行う講堂や会議室も設けました。

当実験棟は、世界の放射線災害・医科学領域の発展に貢献することを目指し、本格稼働します。

【建物名称】 原爆放射線医科学研究所 放射線先端医学実験棟

【建物】 鉄筋コンクリート造 5階建

建築面積： 820.06 m²

延床面積： 3,984.22 m²

5 F	<p>附属被ばく資料調査解析部 所蔵資料庫</p>	<p>講堂 会議室 ラウンジ</p>
4 F	<p>共同利用共同研究エリア 共同研究室 1～6 共通実験室 組織標本作製室 1・2 培養室</p>	<p>低温室 暗室 1・2 フリーザー室</p>
3 F	<p>動物飼育エリア 飼育室 6～13 実験室 胚操作室 検疫室</p>	<p>洗浄室 ケージ返却室 更衣室 コンベンショナル室</p>
2 F	<p>放射線実験エリア 低線量率飼育室 1・2 コントロール室</p>	<p>動物飼育エリア 飼育室 1～5 実験室 1・2 更衣室</p>
1 F	<p>放射線実験エリア 低線量率照射室 1・2 ガンマセル室</p>	<p>放射線災害対応先端技術開発エリア 放射線災害高度対応研修室 測定室 測定・試料調整室 シャワー室</p>